

特集

取り組もう！ BCP 災害に備えて

2017年3月、厚生労働省により災害拠点病院の指定要件が一部改正され、災害拠点病院に事業継続計画（business continuity planning；BCP）の策定が義務化されました。

地震や台風などの自然災害が多い日本では、一般企業においては危機管理対策として、緊急時対応計画（災害時マニュアル）とBCPが早くから策定されてきました。一方で医療機関においては、災害時マニュアルはほとんどの病院で策定されているものの、BCPについてはいまだ策定方法が定まっておらず、各医療機関において調査・工夫がなされている状態と思われます。

そこで本特集では、「取り組もう！ BCP 災害に備えて」と題して、医療機関においてBCPを策定する方法やポイントを、事例も交えながら紹介することで、各医療機関がBCPを策定する際の参考にしていただくことを目指しました。各執筆者の先生方には、医療機関ならではのBCPの特徴や策定の難しさ、実際に策定する際の工夫・手順などをわかりやすくご紹介いただいております。

災害拠点病院において「どうする、BCP！」と困惑している皆様の参考になれば幸いです。

『救急医学』編集委員会

企画担当委員：名古屋市立大学大学院医学研究科先進急性期医療学 松嶋 麻子